特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

令和6年4月1日

　　和歌山県知事　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所（所在地）

　　　　 届出者 〒〇〇○-〇〇〇〇

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〇〇県〇〇市〇〇〇〇

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〇〇　〇〇

（電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 ）

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場の名称 | | 〇〇ホテル | | | | |
| 工場又は事業場の所在地 | | 〒〇〇○-〇〇〇〇  和歌山県〇〇市〇〇〇〇 | | | | |
| 第５条第１項関係 | 特定施設の種類 | 第66号の3 旅館業の用に供する施設  　イ　ちゅう房施設  　ロ　洗濯施設  　ハ　入浴施設 | | | ※ |  |
| 有害物質使用特定施設の該当の有無 | | | 有　□　無　☑ |
| △特定施設の構造 | | | 別紙１のとおり。 | ※受理年月日 | 年　月　日 |
| △特定施設の設備  （有害物質使用特定施設の場合に限る。） | | | ~~別紙１の２のとおり。~~ |
| △特定施設の使用の方法 | | | 別紙２のとおり。 | ※ |  |
| △汚水等の処理の方法 | | | 別紙３のとおり。 |
| △排出水の汚染状態及び量 | | | 別紙４のとおり。 | ※ |  |
| △排出水の排水系統別の汚染状態及び量 | | | ~~別紙５のとおり。~~ |
| △排出水に係る用水及び排水の系統 | | | 別紙６のとおり。 | ※備　考 |  |
| 第５条第２項関係 | 有害物質使用特定施設の種類 | |  | |
| △有害物質使用特定施設の構造 | | | 別紙７のとおり。 |
| △有害物質使用特定施設の使用の方法 | | | 別紙８のとおり。 | 担当部署等  及び連絡先 | 〇〇　〇〇  (TEL:〇〇-〇〇-〇〇〇) |
| △汚水等の処理の方法 | | | 別紙９のとおり。 |
| △特定地下浸透水の浸透の方法 | | | 別紙10のとおり。 |
| △特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統 | | | 別紙11のとおり。 |

様式第１　（裏面）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第５条第３項関係 | 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 | □　有害物質使用特定施設  □　有害物質貯蔵指定施設 | |  |  |
| △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造 | | 別紙12のとおり。 |
| △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備 | | 別紙13のとおり。 |
| △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法 | | 別紙14のとおり。 |
| △施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統 | | 別紙15のとおり。 |

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

　　　２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

　　　４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

　　　５　※印の欄には、記載しないこと。

　　　６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

　　　７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

　　　８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

有害物質取り扱いリスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場・事業場名称 | 記入担当部署（又は担当者） | 連絡先TEL |
| 〇〇ホテル | 〇〇　〇〇 | 〇〇－〇〇－〇〇〇 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 有害物質 | 該当すれば「○」を記入 | | 取り扱い期間  （有害物質の取り扱い開始から終了まで） | |
| 特定施設  (有害物質貯蔵指定施設)での取り扱い | 特定施設  (有害物質貯蔵指定施設)  **以外**での取り扱い |
| 四塩化炭素 |  |  |  | |
| 1,2－ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ |  |  |  | |
| 1,1－ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ |  |  |  | |
| 1,2－ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ |  |  |  | |
| 1,3－ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ |  |  |  | |
| ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ |  |  |  | |
| ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ |  |  |  | |
| 1,1,1－ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ |  |  |  | |
| 1,1,2－ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ |  |  |  | |
| ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ |  |  |  | |
| ﾍﾞﾝｾﾞﾝ |  |  |  | |
| ｶﾄﾞﾐｳﾑ及びその化合物 |  |  |  | |
| 六価ｸﾛﾑ化合物 |  |  |  | |
| ｼｱﾝ化合物 |  |  |  | |
| 水銀及びその化合物 |  |  |  | |
| ｾﾚﾝ及びその化合物 |  |  |  | |
| 鉛及びその化合物 |  |  |  | |
| 砒素及びその化合物 |  |  |  | |
| ふっ素及びその化合物 |  |  |  | |
| ほう素及びその化合物 |  |  |  | |
| ｼﾏｼﾞﾝ |  |  |  | |
| ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ |  |  |  | |
| ﾁｳﾗﾑ |  |  |  | |
| ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙ（PCB） |  |  |  | |
| 有機リン化合物（ 注１ ） |  |  |  | |
| アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 |  |  |  | |
| 塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ |  |  |  | |
| 1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ |  |  |  | |
| これら上記の全有害物質を取り扱っていない場合は右の空欄に○をご記入ください。 | | | | ○ |

注１　有機リン化合物とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNをいう。

注２　有害物質を取り扱うとは、有害物質を製造、使用、処理又は貯蔵する等をいう。

注３　取り扱う有害物質がある場合は、さらに「有害物質の取り扱い状況」に記入が必要です。

注４　過去取り扱っていた、または今後使用等する有害物質すべてについて記入すること。

別紙１

特定施設の構造

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場に  おける施設番号 | ① | ② | ③ |
| 特定施設号番号及び名称 | 第66号の3イ  ちゅう房施設 | 第66号の3ロ  洗濯施設 | 第66号の3ハ  入浴施設 |
| 型　　　式 | ○○社製システムキッチン | 〇〇社製  型式：〇－〇 |  |
| 構　　　造 | ステンレス製シンク、  木製台 | 全自動家庭用洗濯機 | 浴室：タイル貼り  浴槽：FRP製 |
| 主要寸法 | 主要部：シンク  寸法  幅　：〇〇mm  奥行：〇〇mm  高さ：〇〇mm | 主要部：洗濯機本体  寸法  幅　：〇〇mm  奥行：〇〇mm  高さ：〇〇mm | 主要部：浴槽  寸法  幅　：〇〇mm  奥行：〇〇mm  高さ：〇〇mm |
| 能　　　力 | 簡易宿所定員：〇人/日 | 同左 | 同左 |
| 配　　　置 | 別図2のとおり | 同左 | 同左 |
| 設　置　年　月　日 | 平成20年4月頃 | ~~年　　月　　日~~ | 平成20年4月頃 |
| 工事着手予定年月日 | 令和6年6月1日  (届出日から60日以上先) | 令和6年6月1日  (届出日から60日以上先) | 令和6年6月1日  (届出日から60日以上先) |
| 工事完成予定年月日 | 令和6年6月1日  (着手日＋工期0日) | 令和6年6月2日  (着手日＋工期1日) | 令和6年6月1日  (着手日＋工期0日) |
| 使用開始予定年月日 | 令和6年6月1日  (完成後) | 令和6年6月2日  (完成後) | 令和6年6月1日  (完成後) |
| その他参考と  なるべき事項 | 1基  既存施設を簡易宿所用  として活用。 | 1基  新設 | 1基  既存施設を簡易宿所用  として活用。  過去の建物所有者設置のため型式等詳細不明。 |

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場に  おける施設番号 | | ① | | ② | | ③ | |
| 特定施設号番号及び名称 | | 第66号の3イ  ちゅう房施設 | | 第66号の3ロ  洗濯施設 | | 第66号の3ハ  入浴施設 | |
| 設置場所 | | 別図2のとおり | | 別図2のとおり | | 別図2のとおり | |
| 操業の系統 | | 別図5のとおり | | 別図5のとおり | | 別図5のとおり | |
| 使用時間間隔 | | 14時～翌10時 | | 14時～翌10時 | | 24時間 | |
| １日当たりの使用時間 | | 18時間/日 | | 18時間/日 | | 連続24時間 | |
| 使　用　の  季節的変動 | | なし | | なし | | ○月～○月に使用 | |
| 原材料（消耗資  材を含む。）の  種類、使用方法  及び１日当たり  の使用量 | | 水道水：1.0㎥/日  洗剤等：10mL/人・回  食材：最大2食/人・日 | | 水道水：1.0㎥/日  洗剤等：10mL/人・回 | | 水道水：1.0㎥/日  温泉水：1.0㎥/日  石鹸等：10mL/人・回 | |
| 汚水等の汚染状態 | 種類・項目 | 通　常 | 最　大 | 通　常 | 最　大 | 通　常 | 最　大 |
| ほう素[mg/L]  ふっ素[mg/L] |  |  |  |  | ★  ☆ | ★  ☆ |
| 汚水等の量  （ｍ3／日） | | 通　常 | 最　大 | 通　常 | 最　大 | 最　大 | 最　大 |
| 1.0 | 2.0 | 1.0 | 2.0 | 2.0 | 4.0 |
| その他参考と  なるべき事項 | | 【温泉水に係る汚染状態計算式】  ほう素：(〇×◎×0.2467＋●×◎×0.2525)×(1.0÷2.0)=★  ふっ素：(△×◎)×(1.0÷2.0)=☆  (計算法) 別途添付の温泉分析書を参考に希釈率＝[温泉水量]÷[全水量]で計算。  ・ほう素[mg/L]=(〇メタほう酸[mg/kg]×◎密度[g/cm3]×0.2467  ＋●メタほう酸イオン[mg/kg]×◎密度[g/cm3]×0.2525)×希釈率  ・ふっ素[mg/L]=(△ふっ化物イオン[mg/kg]×◎密度[g/cm3])×希釈率 | | | | | |

　備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について　　　記載すること。

別紙３

汚水等の処理の方法

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場に  おける施設番号 | |  | | | |  | | | |
| 処理施設の  設置場所 | |  | | | |  | | | |
| 設置年月日 | |  | | | |  | | | |
| 工事着手予定年月日 | |  | | | |  | | | |
| 工事完成予定年月日 | |  | | | |  | | | |
| 使用開始予定年月日 | |  | | | |  | | | |
| 種類及び型式 | |  | | | |  | | | |
| 構　　　造 | |  | | | |  | | | |
| 主要寸法 | |  | | | |  | | | |
| 能　　　力 | |  | | | |  | | | |
| 処理の方式 | |  | | | |  | | | |
| 処理の系統 | |  | | | |  | | | |
| 集水及び導水の方法 | |  | | | |  | | | |
| 使用時間間隔 | |  | | | |  | | | |
| １日当たりの使用時間 | |  | | | |  | | | |
| 使用の季節変動 | |  | | | |  | | | |
| 消耗資材の  １日当たりの  用途別使用量 | |  | | | |  | | | |
| 汚水等の汚染状態及び量 | 種類・項目 | 通　　常 | | 最　　大 | | 通　　常 | | 最　　大 | |
| 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 量（ｍ3／日） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 残さの種類、１月間の種  類別生成量及び処理方法 | |  | | | |  | | | |
| 排出水の排出方法 | | (雨水のみ)  道路側溝→水路→築地川 | | | |  | | | |
| その他参考と  なるべき事項 | | 処理施設なし | | | |  | | | |

　備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項につ　　　　　いて記載すること。

２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

排出水の汚染状態及び量

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場に  おける施設番号 | | 排水口① | | 排水口② | |
| 排出水の汚染状態 | 種類・項目 | 通　　常 | 最　　大 | 通　　常 | 最　　大 |
| ほう素[mg/L]  ふっ素[mg/L] |  |  | ★  ☆ | ★  ☆ |
| 排出水の量  （ｍ3／日） | | 通　　常 | 最　　大 | 通　　常 | 最　　大 |
| 3.0 | 6.0 | 2.0 | 4.0 |
| その他参考と  なるべき事項 | | ・排水口①は公共下水道へ接続。  ・雨水(上記排水経路に加わらなかったもの)は地面に浸透、  または地表を通じて事業場周囲の道路側溝へ排水。  【温泉水に係る汚染状態計算式】  ほう素：(〇×◎×0.2467＋●×◎×0.2525)×(1.0÷2.0)=★  ふっ素：(△×◎)×(1.0÷2.0)=☆  (計算法) 別途添付の温泉分析書を参考に希釈率＝[温泉水量]÷[全水量]で計算。  ・ほう素[mg/L]=(〇メタほう酸[mg/kg]×◎密度[g/cm3]×0.2467  ＋●メタほう酸イオン[mg/kg]×◎密度[g/cm3]×0.2525)×希釈率  ・ふっ素[mg/L]=(△ふっ化物イオン[mg/kg]×◎密度[g/cm3])×希釈率 | | | |

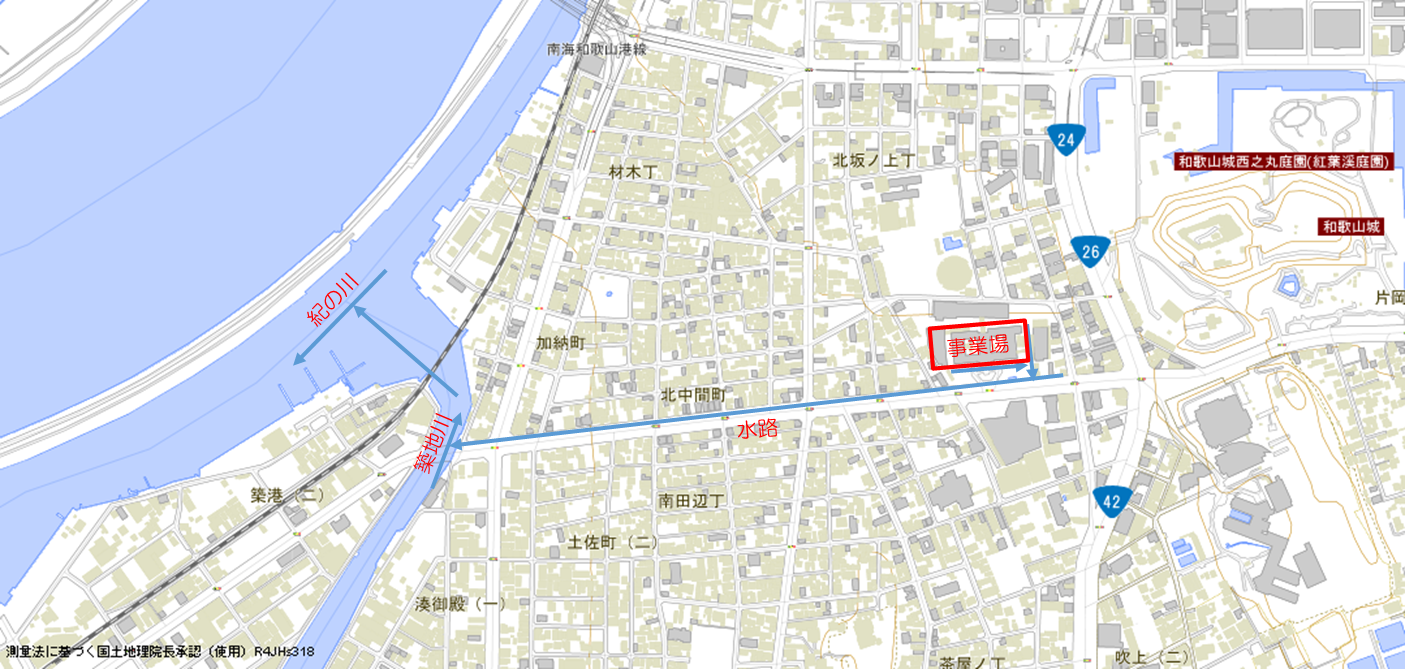
　備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項につい　　　　て記載すること。

別紙６

用水及び排水の系統

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 用水及び排水の系統 | 別図５のとおり | | |
| 用　途　別  用水使用量 | 用　　途 | 使　　用　　水 | 用水使用量（m３／日） |
| ちゅう房、洗濯施設、その他生活排水 | 水道水 | 3.0 |
| 入浴施設 | 温泉水(〇〇温泉) | 2.0 |

別図１　事業場から主要河川(海)までの排水経路付き周辺地図



別図２　平面図(配置図)



旅館業不使用部

【備考】旅館業不使用部

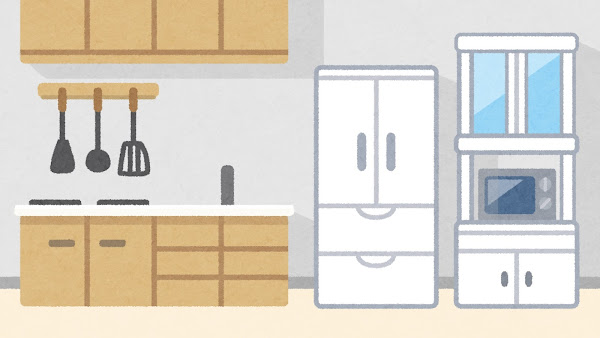
(例1)黄囲い部：事業主体は同一だが、延床○○㎡の一般客向け飲食店。飲食付き宿泊プランなし。

(例2)黄囲い部：旅館業の用に供しない社員住居。

(例3)黄囲い部：排水に係る事業主体は別。専ら旅館業用でない飲食店。

別図３　各特定施設の構造図　(別紙1,2記載事項)

施設番号：①



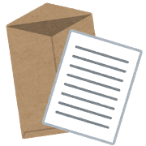
機器カタログ、設計図等

(既存施設活用の場合は写真も可)

機器カタログ、設計図等

(既存施設活用の場合は写真も可)

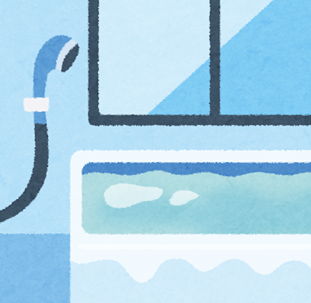
施設番号：②



機器カタログ、設計図等

(既存施設活用の場合は写真も可)

施設番号：③

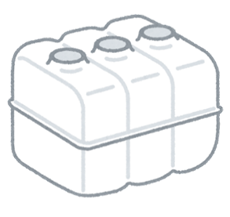
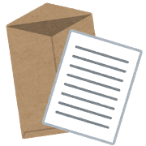


機器カタログ、設計図等

(既存施設活用の場合は写真も可)

別図４　汚水処理施設の構造図　(別紙3記載事項)

施設番号：浄化槽①



機器カタログ、設計図等

(既存施設活用の場合は写真も可)

別図５　用排水系統・操業系統図

[]：通常排水量(㎥/日)

水道水[4.0] 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　温泉水[1.0]

宿泊客調理　　　　　　宿泊客調理　　　　　 その他生活排水　　宿泊客入浴

施設番号：①　　　　　施設番号：②　　　　 (トイレ等)　　　 施設番号：③

第66号の3イ[1.0]　　第66号の3ロ[1.0]　　[1.0]　　　　　　 第66号の3ハ[2.0]

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 雨水

排水口①[3.0]　　　　　　　　　　　　　　　 　　　排水口②[2.0]